

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）の進捗について

報告内容

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）に掲載している事業の進捗状況（令和5年度末時点）を報告します。

1 生涯学習推進計画に掲載している事業数

82事業

※事業名等の詳細は別紙1のとおり

2 各事業の進捗

進捗管理票（別紙2及び参考資料）のとおり

(1) 年次計画・成果指標を記載している事業（別紙2）

取組の年次計画及び成果指標を掲載している事業について、令和5年度末における進捗を記載しています。

なお、事業の取組や成果の進捗は以下の区分で示しています。

- a：前期3年間の目標を上回って達成した。
- b：前期3年間の目標どおり達成した。
- c：前期3年間の目標に到達しなかった。
- －：指標値を把握できない。

《進捗状況別事業数一覧》

進捗状況	a	b	c	－	計
事業数	2	1	0	0	3

(2) その他の事業（参考資料）

年次計画・成果指標を記載していない事業（別紙2以外の事業）について、令和5年度末における進捗を記載しています。

スポーツ推進計画掲載事業 担当課一覧

基本目標1 誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)スポーツ活動に親しむきっかけづくり	-	①地域スポーツ教室の開催	51	生涯学習スポーツ振興課
	-	②みなと区民スポーツ・体育祭の開催	51	生涯学習スポーツ振興課
	重点	③MINATO シティハーフマラソンの開催	51	生涯学習スポーツ振興課
(2)子どものスポーツ活動の促進	-	①子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	52	生涯学習スポーツ振興課
	-	②幼児の体力増進の取組	52	生涯学習スポーツ振興課
	-	③子どものスポーツ大会の支援	52	生涯学習スポーツ振興課
	-	④「放課GO→」「放課GO→クラブ」での体力向上の取組	52	各総合支所管理課/ 子ども家庭課/生涯学習スポーツ振興課
	-	⑤児童館・子ども中高生プラザでの体力向上の取組	52	各総合支所管理課/ 子ども家庭課
	-	⑥小学校における連合運動会等の開催	53	教育指導担当
	-	⑦中学校における体育大会等の開催	53	教育指導担当
	-	⑧特別支援学級合同運動会の開催	53	教育指導担当
(3)子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の促進	-	①スポーツセンター等での夜間の教室開催	54	生涯学習スポーツ振興課
	-	②子育て世代のスポーツ活動への参加促進	54	生涯学習スポーツ振興課
	-	③働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	54	生涯学習スポーツ振興課
	新規	④働き盛り世代への運動プログラムの周知	54	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課
(4)高齢者のスポーツ活動の促進	-	①高齢者向けスポーツ教室の実施	55	生涯学習スポーツ振興課
	-	②さわやか体育祭の開催	55	各総合支所管理課/ 高齢者支援課
	-	③いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	55	各総合支所管理課/ 高齢者支援課
(5)スポーツ観戦の機会の創出	重点	①スポーツ大会・試合・催し物の誘致	56	生涯学習スポーツ振興課
	-	②スポーツ大会等の情報発信	56	生涯学習スポーツ振興課
(6)競技スポーツへの参加支援	-	①区民大会等の開催	57	生涯学習スポーツ振興課
	-	②定期練習会の開催	57	生涯学習スポーツ振興課
	-	③個人公開指導の実施	57	生涯学習スポーツ振興課
	重点	④トップアスリート及びチームとの交流	57	生涯学習スポーツ振興課

基本目標2 スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)スポーツボランティアの育成と活用	重点	①スポーツボランティア活動の普及と定着	58	生涯学習スポーツ振興課
	-	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	58	生涯学習スポーツ振興課
(2)スポーツ指導者の確保と活用	-	①部活動指導員の活用	58	教育指導担当
	-	②武道における外部指導員の活用	58	教育指導担当
(3)地域スポーツ団体等の支援と充実	重点 新規	①総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)と多様な主体との連携	59	生涯学習スポーツ振興課
	-	②総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)の活性化	59	生涯学習スポーツ振興課
	-	③社会体育団体等への支援	60	生涯学習スポーツ振興課
	-	④スポーツ推進委員の活動支援	60	生涯学習スポーツ振興課
(4)スポーツ活動を支える団体等との連携	-	①スポーツ推進委員との連携	61	生涯学習スポーツ振興課
	-	②(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	61	生涯学習スポーツ振興課
	-	③(一財)港区体育協会との連携	61	生涯学習スポーツ振興課
	-	④競技団体との連携	61	生涯学習スポーツ振興課

基本目標3 スポーツを楽しむ場の確保と利用促進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実	重点	①区立のスポーツ施設等の環境整備	62	生涯学習スポーツ振興課
	-	②児童遊園の充実	62	土木課
	-	③校庭の整備等、学校における運動環境の充実	62	学務課/学校施設担当
(2)学校施設の活用の推進	-	①校庭及び体育館等の開放	63	生涯学習スポーツ振興課
	-	②学校屋内プールの開放	63	生涯学習スポーツ振興課
	-	③遊び場開放事業の実施	63	生涯学習スポーツ振興課
	-	④園庭等の開放	63	学務課
(3)既存施設の有効活用と大学等のスポーツ施設の活用の推進	-	①大学等のスポーツ施設等の活用	64	生涯学習スポーツ振興課
	-	②区外における運動施設の活用	64	生涯学習スポーツ振興課
	-	③プレーパークの推進	64	各総合支所まちづくり課/土木課

基本目標4 障害者スポーツの環境づくりと理解の促進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)障害者のスポーツ活動の推進	-	①障害者のスポーツ教室の開催	65	障害者福祉課
	-	②いちよう学級の実施	65	障害者福祉課
	-	③スポーツ指導員の配置	65	生涯学習スポーツ振興課
(2)障害者スポーツへの理解促進と普及・啓発	-	①障害者スポーツの理解の推進	65	生涯学習スポーツ振興課
	-	②障害者スポーツの普及・啓発	65	生涯学習スポーツ振興課
(3)障害者スポーツを通じた交流の推進	重点	①障害者スポーツの観戦・体験機会の創出	66	生涯学習スポーツ振興課
	-	②障害者スポーツの集いの充実	66	生涯学習スポーツ振興課
	-	③障害者スポーツ環境の充実	66	生涯学習スポーツ振興課

基本目標5 港区の特性や資源を生かしたスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)港区の特性を生かしたスポーツツーリズムの推進	-	①観光資源を活用したスポーツ活動の実施	67	生涯学習スポーツ振興課
	-	②立地特性を生かした催し物の実施	67	生涯学習スポーツ振興課
	重点	③スポーツ大会・試合・催し物の誘致 [再掲]	67	生涯学習スポーツ振興課
(2)区内企業等との連携によるスポーツ機会の創出	重点	①トップアスリート及びチームとの交流 [再掲]	68	生涯学習スポーツ振興課
	-	②国際性豊かな催し物の実施	68	生涯学習スポーツ振興課
	-	③企業との連携協定	68	生涯学習スポーツ振興課
	-	④総合支所との連携強化	68	生涯学習スポーツ振興課
(3)東京2020大会等のレガシーの継承	重点	①MINATO シティハーフマラソンの開催 [再掲]	69	生涯学習スポーツ振興課
	-	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施 [再掲]	69	生涯学習スポーツ振興課
	-	③東京2020大会の気運醸成事業の推進とレガシーの創出	69	生涯学習スポーツ振興課
	-	④東京2020大会等を通じたネットワークの拡大を活用したスポーツの推進	70	生涯学習スポーツ振興課
	-	⑤ラグビーを生かしたスポーツ振興	70	生涯学習スポーツ振興課

基本目標6 健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)健康づくりのための身体活動の推進	-	①健康づくり自主グループの育成及び支援	71	健康推進課
	-	②健康づくりサポーターの育成及び支援	71	健康推進課
	-	③ウォーキングマップの利用及び活用促進	71	健康推進課
	-	④健康サポート教室(65歳未満)の開催	71	健康推進課
	-	⑤「港区子ども健康読本」の発行	72	健康推進課
	新規	⑥子どもの健康な身体づくりに向けた食育の推進	72	学務課
	-	⑦「親子ふれあい広場」での催し物の開催	72	子ども家庭支援センター
(2)介護予防等に向けた取組の展開	-	①介護予防を担う人材の養成	73	高齢者支援課
	-	②介護予防体操(みんなといきいき体操)の普及	73	高齢者支援課
	-	③介護予防事業の充実	73	高齢者支援課
	-	④認知症予防事業の実施	73	高齢者支援課
	-	⑤訪問型介護予防事業の実施	73	高齢者支援課
(3)スポーツと健康づくりの活動拠点の充実	重点 新規	①スポーツと健康づくりをともに支える環境の充実	74	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課
	-	②ヘルシーナにおける健康増進の取組の実施	74	健康推進課
	-	③スポーツセンターと区有施設との連携事業の推進	74	高齢者支援課/健康推進課/生涯学習スポーツ振興課

基本目標7 先端技術で創り出す新たなスポーツの楽しみ方の実現

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課
(1)先端技術を活用したスポーツ活動の推進	重点 新規	①先端技術の活用に向けた民間企業等との連携	76	生涯学習スポーツ振興課
	重点 新規	②オンライン配信によるスポーツ機会の充実	76	生涯学習スポーツ振興課
(2)スポーツ情報の提供	-	①SNS等を活用した情報の提供	77	生涯学習スポーツ振興課
	-	②区ホームページの充実	77	生涯学習スポーツ振興課
	-	③施設の周知、利用案内等の情報提供	77	生涯学習スポーツ振興課

<進捗状況の区分>
 a:前期3年間の目標を上回って達成した。
 b:前期3年間の目標どおり達成した。
 c:前期3年間の目標に到達しなかった。

No.(基本目標-施策-事業)	掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課	進捗状況		
1-(5)-①	56	○		スポーツ大会・試合・催し物の誘致	生涯学習スポーツ振興課	a		
事業・取組の内容 トップアスリートによるスポーツ大会や試合、催し物をスポーツセンター等に誘致することで、トップアスリートの競技を間近で観戦し、スポーツの興奮や感動を共有する機会を提供する。						進捗状況		
						a		
		前期3年間			後期	実績の評価(前期3年間(R3~R5))	事業の課題や改善が必要な事項	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度末			
取組目標	スポーツ大会等の誘致数	年次計画	2回	3回	4回	5回	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した大会等もあったが、感染症対策を行った上で開催されるなど、大会等が再開されるようになって以降は、区内企業が有するチームやトップアスリートの大会等を誘致するなどして目標を達成することができた。 コロナ禍以降では、体験会や教室等のイベントも増え、トップアスリートによる技術や指導を体感できる機会も増えた。	トップレベルの競技を間近で観戦することで感じる興奮や感動など、スポーツの多くの魅力をこれまで以上に提供できるよう、様々な競技種目のトップアスリートによる大会等を誘致する必要がある。 また、障害者スポーツの大会等を誘致し、観客動員を見込む場合、大会当日の運営や会場への入退場等について安全性を高める取組を検討する必要がある。
		実績	2回【内訳】 ・日本ハンドボールリーグ大会:9/20、11/23、2/23 ・全日本大学バレーボール選手権大会:12/1、12/2	3回【内訳】 ・全国ボッチャ選抜甲子園 8/12、8/13 ・パワーチェアフットボール合宿 9/23、9/24 ・日本卓球リーグホームマッチ 10/24 ※上記の他、コロナによる中止1回	8回【内訳】 ・福島千里選手によるランニング教室 5/5 ・サンゴリアスラグビー体験教室 6/25 ・阿部詩選手による柔道指導体験会 7/23 ・体操クラブによる体操教室 10/21 ・日本卓球リーグホームマッチ 11/2	(←令和5年度実績の続き) ・Panasonic/パンサーズのバレーボール練習見学 12/8 ・障がい者サッカーレガシーマッチ 2024 3/2 ・車イスラグビー体験教室in港区スポーツセンター 3/23		
成果指標①	誘致した大会等の観戦者数/年間	指標①	500人	900人	1,400人	1,400人	大会等によっては募集人数の都合もあり指標に届かなかったが、様々な種目のトップアスリートの競技を間近で観ることができるスポーツ大会等を誘致し、スポーツを楽しむ機会を提供することができた。	今後の取組 様々な競技種目の大会等を誘致できるよう、区内企業等有するチームやトップアスリートについて、積極的に情報収集して大会等の誘致を図っていく。 障害者スポーツの大会等を誘致するため、会場内及び会場への入退場で、音声誘導やサインエージの活用、介助スタッフの配置など、障害者アスリートや参加者が参加しやすい誘導方法等について検討していく。
		実績	1,017人【内訳】 9/20:279人、11/23:363人、2/23:375人 12/1、12/2:無観客	268人【内訳】 8/12:99人、8/13:169人 9/23・24:無観客 10/24:無観客	1,284人【内訳】 5/5:70人、6/25:71人、7/23:134人 10/21:31人、11/2:100人 12/8:497人、3/2:366人、3/23:15人			
成果指標②	-	指標②	-	-	-	-		
成果指標③	-	指標③	-	-	-	-		

No.(基本目標-施策-事業)	掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課	進捗状況		
2-(3)-①	59	○	○	総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)と多様な主体との連携	生涯学習スポーツ振興課	a		
事業・取組の内容 スポーカルは、「多種目」、「多世代」、「多様な技術や技能」に合わせて継続的にスポーツを楽しむことができる自主運営のスポーツクラブで、身近な地域でスポーツや文化活動を楽しみながら健康に暮らすとともに、地域コミュニティの活性化の核となることを目的としている。 スポーツを通じた地域のつながりを創出するため、スポーカル間の交流を推進するとともに、港区スポーツセンターや(一財)港区体育協会と連携することで、スポーカルの活動のさらなる充実を図る。						進捗状況		
						a		
		前期3年間			後期	実績の評価(前期3年間(R3~R5))	事業の課題や改善が必要な事項	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度末			
取組目標	連携事業数	年次計画	3回	6回	9回	12回	令和5年度に設立したスポーカル三田を含め、様々な競技団体等との連携事業を実施することができた。 さらに、各スポーカル同士の連携・協力による交流事業を実施できたことで、目標を上回る事業数の達成だけでなく、各スポーカルの活動の活性化にもつながった。	スポーカル交流事業は、昨年度と同種目のバドミントンで開催した。普段とは異なる相手との交流に、満足度が高い参加者がいる一方で、同じ種目が続いたことや、競技経験の有無などによって、事業で体験するレベルに対し物足りなさを感じた参加者もいた。より多くの参加者が楽しむことができるよう実施方法等を工夫する必要がある。
		実績	4回【内訳】 ・スポーカル六本木:2回 ・スポーカル高松:2回 ・スポーカル青山:1回 ・スポーカル青山:中止	8回【内訳】 ・スポーカル六本木:3回 ・スポーカル高松:3回 ・スポーカル青山:1回 ・スポーカル交流:1回	10回【内訳】 ・スポーカル六本木:2回 ・スポーカル高松:4回 ・スポーカル青山:1回 ・スポーカル三田:2回 ・スポーカル交流:1回			
成果指標①	事業参加者のうち、スポーカルの活動に参加したいと回答した人の割合	指標①	65%	70%	75%	90%	今後の取組 高い競技力の団体など多様な主体との連携事業に取り組むことで、普段の活動よりも高い競技力を体験できる機会を設けるなど、スポーカルの活動が、様々な参加者にとって、より魅力的な活動となり、これまで以上に参加者が増えるよう、引き続き支援していく。 スポーツを通じた地域のつながりが深まるよう、様々な競技種目で交流事業を継続していく。	
		実績	85%	89%	80%			
成果指標②	-	指標②	-	-	-	-		
成果指標③	-	指標③	-	-	-	-		

<進捗状況の区分>
 a:前期3年間の目標を上回って達成した。
 b:前期3年間の目標どおり達成した。
 c:前期3年間の目標に到達しなかった。

No.(基本目標-施策-事業)	掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課	進捗状況	
7-(1)-②	76	○	○	オンライン配信によるスポーツ機会の充実	生涯学習スポーツ振興課	b	
事業・取組の内容						自宅にいてもスポーツに親しむことのできるように、各種スポーツ教室や催し物などの様々なスポーツコンテンツをオンライン配信により提供する。	
		前期3年間			後期	実績の評価(前期3年間(R3~R5))	事業の課題や改善が必要な事項
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度末		
取組目標	オンライン配信によるスポーツ教室数	年次計画	10教室	11教室	12教室	8教室	スポーツセンター等に来なくても、いつでもどこでも気軽に運動ができるよう、区やキスポ財団において、オンラインによる「キッズダンス」や「職場や家庭でできる簡単ストレッチ教室」等を実施し、コロナ禍でも体を動かすきっかけづくりに取り組んだ。 目標の教室数には届かなかったが、広いスペースを必要としない運動メニューや、いつでも運動できるように録画配信形式とするなど、様々なプログラムを提供することができた。
		実績	7教室【内訳】 キッズダンス、走り方、腹筋ダンス、簡単ストレッチ、骨盤ストレッチ	4教室【内訳】 録画配信(10分簡単エアロビクス、10分簡単ストレッチ、20分お家アイス体操) ライブ配信(赤ちゃんと一緒にWorkOut)	4教室【内訳】 (新規)東京eデュアスロン2024 (継続)10分簡単エアロビクス、10分簡単ストレッチ、20分お家アイス体操		
成果指標①	参加者数/年間	指標①	200人	220人	240人	2,800人	自宅等の身近な場所ですべて気軽に視聴できるよう、比較的短時間の録画配信にするなど参加者数が増える工夫を行い、自宅にいてもスポーツを楽しめる機会を提供できたことで目標を達成できた。
		実績	142人【内訳】 キッズダンス11人、走り方79人、腹筋ダンス28人、簡単ストレッチ5人、骨盤ストレッチ19人	2,088人【内訳】 10分簡単エアロビクス1,793人、10分簡単ストレッチ160人、20分お家アイス体操68人、赤ちゃんと一緒にWorkOut67人	441人【内訳】 東京eデュアスロン2024 79人、簡単エアロビクス267人、10分簡単ストレッチ42人、20分お家アイス体操53人		
成果指標②	-	指標②	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	
成果指標③	-	指標③	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(1)-①	51	—	—	地域スポーツ教室の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	地域の人々が様々なスポーツを体験するきっかけの場を提供するために、中学校区ごとに学校施設などを拠点として、スポーツ推進委員を中心に、地域スポーツ教室を開催 働き盛り世代の人たちや高齢者、障害者などの参加者の拡大を図るとともにSNSを活用した周知を行う。	スポーツ推進委員が主体となり親子、高齢者、障害者の方が気軽に参加できる「卓球」、「バドミントン」、「ボッチャ」などの教室を実施。区内の中高校生プラザやいきいきプラザなどに募集ちらしを配布。 開催回数:62回 参加者数:1,600人	スポーツ推進委員が主体となり親子、高齢者、障害者の方が気軽に参加できる「ボッチャ」や「ヨガ」などの教室を実施 区内幼小中学校へ募集ちらしを配布し、区設掲示板に掲示した。 開催回数:58回 参加者数:1,883人	スポーツ推進委員が主体となり親子、高齢者、障害者の方が気軽に参加できる「ボッチャ」や「ヨガ」などの教室を実施 区内幼小中学校へ募集ちらしを配布し、区設掲示板に掲示した。 開催回数:64回 参加者数:1,499人	—	3年間を通して、多くの人が気軽にスポーツを体験できる機会となった。	新しい種目を取り入れ、より多くの方に参加してもらえる教室を実施していく。
1-(1)-②	51	—	—	みなと区民スポーツ・体育祭の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	「みなと区民スポーツ・体育祭」では、誰もが気軽にスポーツを体験できる機会を提供する「スポーツまつり」と(一財)港区体育協会加盟団体による競技大会の「体育祭大会」を開催	令和3年10月24日(日)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	令和4年10月10日(月)にみなと区民スポーツ・体育祭を開催した。 参加者数:10,250人	令和5年10月9日(日)にみなと区民スポーツ・体育祭を開催した。 参加者数:9,413人	—	コロナにより中止した年もあるが、体育祭開催時には多くの人が気軽にスポーツを体験できる機会となった。	今後も誰もがスポーツに触れられる機会として、継続的に開催していく。
1-(1)-③	51	○	—	MINATOシティハーフマラソンの開催	生涯学習 スポーツ 振興課	大会の開催に当たり、地域振興、国際化、教育、文化など、地域共生社会の実現に向けた基盤づくりとなるよう区内企業をはじめとする様々な関係団体等と連携するほか、区民等がボランティアとして参加することで、MINATOシティハーフマラソンを地域ぐるみで世界に誇れる大会へと創り上げ、また、育てていくことによって、コミュニティの活性化、港区への愛着と誇りの機会の創出につなげる。	令和3年11月23日(火・祝)に予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止	区、事業者、区内で活動する地域団体等で構成する「港区マラソン実行委員会」等が主催となり、3年振りに開催 また、大会を通じて寄せられた寄付金については港区社会福祉協議会に贈呈 開催日:11月20日(日) ランナー参加者数:ハーフ5,625人、ファンラン453人 ボランティア:985人	区、事業者、区内で活動する地域団体等で構成する「港区マラソン実行委員会」等が主催となり、開催した。 また、大会を通じて寄せられた寄付金については港区社会福祉協議会に贈呈した 開催日:11月19日(日) ランナー参加者数:ハーフ5,646人、ファンラン585人 ボランティア:921人	—	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、令和4年度以降は、大きな事故なく開催しており、申込者数も増加している。 一方で、中高生を対象とした新種目の設置や国際大会に向けた競技運営や制作物等の見直し等の課題がある。	令和6年度の2024大会において、大会創設時からの課題である中高生を対象とした新種目の試行実施を行い、他種目への影響や警備、規制面の課題を抽出し、2025大会での本格導入を目指す。 国際大会化についても2025大会を目指し、令和6年度は、世界陸連コース認定に向けた計測、制作物や大会当日のサイン表記の日英併記等を行い、国際大会化に向けた準備を進める。
1-(2)-①	52	—	—	子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく連携により、区立小・中学校の児童・生徒にラグビー観戦の機会を提供しているほか、保育園児等の幼児を対象とした「タグラグビー体験会」や小学生を対象とした「タグラグビー教室」、障害者向けタグラグビー教室を開催 様々な競技団体と連携することで、子どもがスポーツに触れる機会の充実を図る。	・サンゴリアス応援ペアラグビー招待 参加者数:138人 ・幼児タグラグビー教室(保育園・幼稚園) 参加者数:延1,749人 ・小学生タグラグビー教室(港陽小学校、港南小学校) 参加者数:延275人 ・キッズタグラグビーフェスティバル 参加者数:236人	(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく事業を実施 ・観戦機会5回 参加者数:497人 ・体験機会107回 参加者数:延5,226人	(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく事業を実施 ・観戦機会:4回 参加者数:272人 ・幼児タグラグビー教室(保育園・幼稚園) 実施回数:63回 参加者数:1,496人 ・幼児・小学生タグラグビー教室 実施回数:39回 参加者数:1,059人 ・キッズタグラグビーフェスティバル 参加者数:118人 ・障害者向けタグラグビー教室 実施回数:5回 参加人数:28人	—	子どもたちに、スポーツを「する」「みる」機会を提供することができた。	引き続き、子どもたちがスポーツに触れられるよう、多くの機会をつくっていく。
1-(2)-②	52	—	—	幼児の体力増進の取組	生涯学習 スポーツ 振興課	幼児を対象に、専門の指導員によるスイミングやフットサルなどを実施する。	スポーツセンター等で、幼児の水泳教室やキッズバレエ、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス教室を実施 実施回数:354回 参加者数:延2,520人	スポーツセンター等で、幼児の水泳教室やキッズバレエ、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス、かけっこ教室を実施 実施回数:609回 参加者数:延3,858人	スポーツセンター等で、幼児の水泳教室やキッズバレエ、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス、かけっこ教室を実施 実施回数:764回 参加者数:延4,702人	—	3年間通じて幼児の体力増進に寄与する教室を実施することができた。	引き続き、港区スポーツセンターをはじめとした区内運動施設で利用者ニーズに応じた幼児向け教室を実施していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(2)-③	52	—	—	子どものスポーツ大会の支援	生涯学習スポーツ振興課	子どものスポーツをするきっかけづくりを推進するため、子どもを対象とするスポーツ大会や催し物を支援	わんぱく相撲港区大会の運営に要する経費の一部を助成	区内で実施するスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を助成 補助決定団体数:7団体	区内で実施するスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を助成 補助決定団体数:6団体 6団体のうち、子どものスポーツ大会等を対象:5団体	—	令和4年度から新たな補助金事業として実施した。予算残に応じて追加募集を行うなど、広く募集をすることができた。	引き続き、補助金事業として実施する。周知方法を見直し、様々な団体が活用できるよう周知を強化する。
1-(2)-④	52	—	—	「放課GO→」・「放課GO→クラブ」での体力向上の取組	各総合支所管理課/子ども若者支援課/生涯学習スポーツ振興課	児童が放課後等の学校施設などを活用し、安全に安心して活動できる居場所「放課GO→」「放課GO→クラブ」を実施 「放課GO→」「放課GO→クラブ」で行う様々なスポーツプログラムを通じて、子どもたちの体力向上を図る。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、放課GO→を中止し、代替事業として緊急児童居場所づくり事業を実施した。	新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底したうえで、令和4年4月から放課GO→を再開し、専門の指導員が見守る中で、遊び、スポーツや工作等の活動をしながら放課後の時間を過ごす場を提供した。	「放課GO→」「放課GO→クラブ」において、様々なスポーツプログラムを実施した。	—	様々なスポーツプログラムを通じて、子どもたちの体力向上を図ることができた。	引き続き様々なスポーツプログラムを通じて、子どもたちの体力向上を図る。
1-(2)-⑤	52	—	—	児童館・子ども中高生プラザでの体力向上の取組	各総合支所管理課/子ども若者支援課	児童の健全育成のため、学習、遊び、スポーツなどの場と機会を提供 児童館・子ども中高生プラザの施設や事業において、スポーツや遊びを通じて体力向上を図る。	感染症対策のため、活動が限られる中、施設状況や利用状況に応じ、各施設が工夫の上事業を実施した。	感染症対策のため、活動が限られる中、施設状況や利用状況に応じ、各施設が工夫の上事業を実施した。	児童館や子ども中高生プラザにおいて、学習、遊び、スポーツなどの場と機会を提供した。	—	スポーツや遊びを通じて、体力向上を図ることができた。	引き続き学習、遊び、スポーツなどの場と機会を提供し、体力向上を図る。
1-(2)-⑥	53	—	—	小学校における連合運動会等の開催	教育指導担当	各学校間の交流を通じて、協調性や連帯感を育成するとともに、児童の体力向上を図るため、区立小学校6年生を対象とした「連合運動会」を実施 各学校間の交流や、児童の体力の向上、泳力の向上をめざし、区立小学校6年生を対象とした「水泳記録会」を実施	令和3年10月5日(火)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止とした。	令和4年10月4日(火)に駒沢陸上競技場で連合運動会を実施した。	令和5年9月27日(水)に国立競技場で連合運動会を実施した。	—	初めての国立競技場の開催で、競技の行い方や競技場の使い方などの情報共有が図れていなかった。ソフト面の強化を行っていく必要がある。	令和6年10月3日(木)に国立競技場で連合運動会を実施する。
1-(2)-⑦	53	—	—	中学校における体育大会等の開催	教育指導担当	区立中学校2年生を対象に、都立駒沢オリンピック公園総合運動場で「連合体育大会」を行う。大会本番に向け、各学校での保健体育科の授業や朝の始業前の時間、放課後の練習を通じて体力・運動能力の向上を図る。生徒の泳力の向上をめざすほか、学校間の親睦を図ることを目的として、区立中学校の代表生徒による「中学校水泳記録会」を実施	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止とした。	令和4年10月5日(水)に駒沢陸上競技場で連合運動会を実施した。	令和5年9月26日(火)に国立競技場で連合運動会を実施した。	—	初めての国立競技場の開催で、競技の行い方や競技場の使い方などの情報共有が十分ではなかった。ソフト面の強化を行っていく必要がある。	令和6年10月2日(水)に国立競技場で連合運動会を実施する。
1-(2)-⑧	53	—	—	特別支援学級合同運動会の開催	教育指導担当	区立小・中学校特別支援学級の児童・生徒が一堂に会し、競技や演技を通じて、各校との交流を図るとともに、体力を高めるために、「特別支援学級合同運動会」を実施	令和3年10月8日(金)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止とした。	令和4年10月7日(金)に港区立スポーツセンターで合同運動会を実施した。	令和5年10月6日(金)に港区立スポーツセンターで合同運動会を実施した。	—	保護者参加種目の見直しやプログラムの精選を行い、児童・生徒の実態に合った合同運動会を実施することができるようにする。	令和6年10月9日(金)に港区立スポーツセンターで合同運動会を実施する。
1-(3)-①	54	—	—	スポーツセンター等での夜間の教室開催	生涯学習スポーツ振興課	働き盛り世代が仕事帰りに気軽にスポーツに取り組めるよう、スポーツセンターや各スポーツ施設での夜間の教室プログラムを実施	トレーニングパークや第一競技場にて、ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施	トレーニングパークや第一競技場にて、ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施	トレーニングパークや第一競技場にて、ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施	—	コロナの影響により夜間利用者が減少していたが、規制解除により利用が回復した。	働き盛り世代等の夜間参加者のニーズに応じたスタジオプログラムや自主事業を実施するとともに、オンラインプログラムの実施を検討していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(3)-②	54	—	—	子育て世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	子育て中の親が安心してスポーツに取り組めるよう、親子で楽しむことができる運動教室やスポーツ体験における親子参加型事業の充実に取り組む。	・スポーツセンターで実施 親子で楽しむ運動教室 56回開催 延参加者892人(446組) 親子でエアロボックス 2回開催 延参加者38人(19組) ・地域スポーツ教室で親子で楽しめる教室を実施 実施回数:20回 参加者数:915人	・スポーツセンターで実施 親子で楽しむ運動教室 86回開催 延参加者1,482人(741組) ベビースイミング 70回開催 延参加者914人(457組) ・地域スポーツ教室で親子で楽しめる教室を実施 実施回数:20回 参加者数:975人	・スポーツセンターで実施 親子で楽しむ運動教室 69回開催(520組) 延参加者1,040人 ベビースイミング 60回開催(405組) 延参加者810人 ・運動場で実施 親子運動教室 16回開催 延参加者45人 ・地域スポーツ教室で親子で楽しめる教室を実施 実施回数:16回 参加者数:578人	—	3年間を通じての多く親子が参加できる教室を開催することができた。	港区スポーツセンターや地域スポーツ教室において親子で参加できる運動教室を引き続き実施していく。他の種目の教室の開催についても検討していく。
1-(3)-③	54	—	—	働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	働き盛り世代が日常的にスポーツに取り組めるよう、区内企業に対し、区が主催するスポーツ体験会への参加を働きかけ、働き盛り世代のスポーツ活動の活性化を図る。	働き盛り世代がスポーツに参加しやすいように、オンラインでの教室やウォーキングイベント等を実施した。	働き盛り世代もスポーツに参加しやすいように、オンラインによる教室やウォーキングイベントを実施した。	働き盛り世代もスポーツに参加しやすいように、オンラインによる教室やウォーキングイベントを実施した。	—	働き盛り世代が参加しやすい形で実施することができた。	働き盛り世代の人にもスポーツ活動を促していけるよう、今後もオンラインによるプログラムの実施を検討する。
1-(3)-④	54	—	○	働き盛り世代への運動プログラムの周知	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	働き盛り世代がスポーツに取り組むきっかけとするため、区が作成している「働くあなたのスマートライフ～働き盛り世代の健康ハンドブック～」や、東京都が東京商工会議所と連携して作成している「オフィスdeエクササイズ～働き盛り世代の運動習慣定着化ガイドブック」を活用した周知に取り組む。	・ホームページにて様々な情報を周知 ・健康講座や港地区健康と安全推進大会において「働き盛り世代の健康ハンドブック」を配布し、出張健康講座(ちよこっと運動)を実施した。	・ホームページにて様々な情報を周知 ・港地区健康と安全推進大会において「働き盛り世代の健康ハンドブック」を配布し、保健師が区立図書館等で出張健康講座を実施した。出張健康講座6回/参加者158人	・ホームページにて様々な情報を周知 ・港地区健康と安全推進大会において「働き盛り世代の健康ハンドブック」を配布し、保健師が区立図書館等で出張健康講座を実施した。出張健康講座:3回 参加者数:43人	—	区内の施設に向き、出張健康講座を実施しているが、回数や参加者が伸び悩んでいる。	出張健康講座が実施可能であること自体を、ホームページ等で周知していく。また、出張先の対象者のニーズに合った内容の情報の周知啓発ができるようにしていく。
1-(4)-①	55	—	—	高齢者向けスポーツ教室の実施	生涯学習スポーツ振興課	高齢者が気軽に参加できるような様々な種目によるスポーツ教室や催し物を実施 スポーツ推進委員と連携して、地域スポーツ教室で高齢者が気軽に楽しみながら体を動かすことができるニュースポーツを取り入れた教室も実施	地域スポーツ教室においてラジオ体操教室等を実施 実施回数:17回 参加者数:785名	地域スポーツ教室においてヨガ教室等を実施 実施回数:24回 参加者数:859名	地域スポーツ教室においてヨガ教室等を実施 実施回数:23回 参加者数:681名	—	気軽に参加できる種目で、高齢者が気軽に楽しみながら体を動かす機会を提供できた。	令和6年度以降も高齢者が気軽に楽しく体を動かす機会を提供していく。
1-(4)-②	55	—	—	さわやか体育祭の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	年1回、スポーツセンターに、いきいきプラザなどの利用者が集い、体力に応じたスポーツやゲーム、体操などを行い、親睦を深める。保育園児も参加し、一緒にゲームなどを行うことにより世代間交流を図る。また、男性高齢者の参加促進など、新たな層への参加を働きかける。	さわやか体育祭(リモート開催)参加者 実績232人 (男性参加率アンケート回答者の11%)	さわやか体育祭(リモート開催)参加者 実績241人 (男性参加率アンケート回答者の11%)	さわやか体育祭(参集形式)参加者 実績295人 (男性参加率 10%)	—	令和3、4年度は新型コロナウイルスの影響のため、リモート開催としていたが、令和5年度は参集形式で行うことができた。	令和6年度以降も継続して行います。
1-(4)-③	55	—	—	いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	60歳以上の区民を対象に、区内のいきいきプラザで卓球やウォーキングなど、多彩な教室や講座を開催 仕事や趣味、ボランティア活動などを行っている元気な高齢者など、新たな層の利用を促進する。	卓球教室やダンス教室、ウォーキング教室等を開催した。 港区立いきいきプラザ等地域訪問事業等により、いきいきプラザの利用促進を図った。	卓球教室やダンス教室、ウォーキング教室等を開催 港区立いきいきプラザ等地域訪問事業等により、いきいきプラザの利用促進を図った。	卓球教室やダンス教室、ウォーキング教室等を開催した。 港区立いきいきプラザ等地域訪問事業等により、アウトリーチによる周知を充実させ、利用促進を図った。	—	・多様な教室・講座を実施し、多くの高齢者の参加が得られた。 ・新型コロナウイルス感染症により減少した利用者数の回復	各種教室の実施にあたり、利用者等の意見を反映させるなどの工夫を凝らし、利用者の増加を図るとともに、新たな利用者層が参加しやすい環境づくりを進めていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(5)-②	56	—	—	スポーツ大会等の 情報発信	生涯学習 スポーツ 振興課	区内で開催されるトップアスリートによる大会や試合等の情報や競技の内容等を積極的に発信し、区民の「みる」スポーツ活動を促進する。	スポーツセンターに、サンゴリアスの試合の日程や結果のパネルを展示した。また、日本ハンドボール大会の際に、大会実施の情報をみなどパーク芝浦のデジタルサイネージで発信した。	スポーツセンターに、サンゴリアスの試合の日程や結果のパネルを展示した。また、女子ラグビーワールドカップニュージーランド大会の際に、大会実施の情報、試合結果を館内掲示した。	スポーツセンターに、サンゴリアスの試合の日程や結果のパネルを展示した。 また、スポーツセンター入り口展示スペースにてイベント情報を掲示。その他、各種大会案内チラシを設置した。	—	パネルのほか、デジタルサイネージを活用することで、効果的に情報を発信することができた。	パネルの展示、デジタルサイネージやポスターの掲示等により引き続き大会の情報を発信していく。
1-(6)-①	57	—	—	区民大会等の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	競技スポーツの日頃の練習の成果を発揮するため、「区民大会」、「都民体育大会港区予選会」、「都民生涯スポーツ大会港区予選会」等を開催し、区民のスポーツ活動の普及と体力向上を図る。	5月～8月の間に港区スポーツセンター及び他会場において実施	年間を通して港区スポーツセンター及び他会場において実施	年間を通して港区スポーツセンター及び他会場において実施	—	各競技団体が感染症対策を行い、多くの大会を開催できた。	引き続き、スポーツセンターや運動場で大会を開催できるよう協力していく。
1-(6)-②	57	—	—	定期練習会の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツセンター等で弓道、剣道、柔道、合気道、なぎなた等の定期的な練習を行う。定期的な練習の機会を提供し、指導員を配置して実技指導を行うことで、技術の上達を支援する。	年間を通して、火曜日に合気道・子供剣道・剣道・弓道、水曜日に民謡、木曜日に、剣道・民謡、金曜日に子供剣道・空手道・アーチェリー、土曜日に、子供柔道・柔道・子供なぎなた・なぎなたを実施。指導員による技術向上及び運動機会の普及を行っている。 令和3年度 参加者数:8,297人	年間を通して、スポーツセンターでは火曜日に合気道・子供剣道・剣道・弓道、水曜日に民謡、木曜日に、剣道・民謡、金曜日に子供剣道・空手道・アーチェリー、土曜日に、子供柔道・柔道・子供なぎなた・なぎなたを実施。指導員による技術向上及び運動機会の普及を行っている。 令和4年度 参加者数:14,288人	年間を通して、スポーツセンターでは火曜日に合気道・子供剣道・剣道・弓道、水曜日に民謡、木曜日に、剣道・民謡、金曜日に子供剣道・空手道・アーチェリー、土曜日に、子供柔道・柔道・子供なぎなた・なぎなたを実施。指導員による技術向上及び運動機会の普及を行っている。 令和5年度 参加者数:15,291人	—	定期的な練習会を実施することで、技術の向上を支援することができた。	引き続き、定期練習会を開催し、区民のスポーツの技術力の向上を図っていく。
1-(6)-③	57	—	—	個人公開指導の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	バスケットボール、バドミントン、卓球等のスポーツを楽しむ機会を提供するため、スポーツセンターの各競技場を公開する。定期的な練習の機会を提供し、指導員を配置して実技指導を行うことで、技術の上達を支援する。	団体予約の入っていない利用枠は、個人利用枠として開放 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、弓道、アーチェリー、空手、剣道、合気道、柔道、なぎなた、民謡、民舞、モダンダンスについては指導員が常駐する時間を設け、実技指導を行った。	団体予約の入っていない利用枠は、個人利用枠として開放 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、弓道、アーチェリー、空手、剣道、合気道、柔道、なぎなた、民謡、民舞、モダンダンスについては指導員が常駐する時間を設け、実技指導を行った。	団体予約の入っていない利用枠は、個人利用枠として開放 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、弓道、アーチェリー、空手、剣道、合気道、柔道、なぎなた、民謡、民舞、モダンダンスについては指導員が常駐する時間を設け、実技指導を行った。	—	競技種目によって混雑度が違うが、卓球・バドミントンは講義スペースが限られていることから特に混雑している状況が続いている。	指導員と話をして柔軟な対応を取ること、定期的な練習の機会を提供すると共に技術の上達を支援していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(6)-④	57	○	—	トップアスリート及びチームとの交流	生涯学習スポーツ振興課	トップアスリートやチームから直接指導を受ける機会を創出するため、区内企業等との連携により、スポーツ教室や交流事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・サンゴリアスラグビー体験教室 日程:9月11日(土) 参加人数:78人 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・港区×明治安田生命サッカー教室 日程:1月16日(日) 参加人数:100人 ・みんなのスケボー体験教室 日程:2月5日(土) 参加人数:37人 ・東京羽田ヴィッキーズバスケットボール教室 日程:3月11日(金) 参加人数:28人 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンゴリアスラグビー体験教室 日程:6月11日(土) 参加人数:78人 ・港区×明治安田生命パラスポーツ体験教室 日程:6月18日(土) 参加人数:33名 ・東京羽田ヴィッキーズバスケットボール教室 日程:12月24日(土) 参加人数:497人 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・港区×明治安田生命サッカー教室 日程:1月15日(日) 参加人数:94人 	<ul style="list-style-type: none"> ・港区×明治安田生命インクルーシブサッカー教室 日程:6月17日(土) 参加人数:109名 ・サンゴリアスラグビー体験教室 日程:6月25日(日) 参加人数:71人 ・サンリツ卓球選手との交流 日程:10月9日(月) ・Panasonicパンサーズ練習見学 日程:12月8日(金) 参加人数:497人 ・港区×明治安田生命サッカー教室 日程:2月25日(日) 参加人数:32人 ・車椅子ラグビー教室 日程:3月23日(土) 参加人数:15人 	—	トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実に取り組みました。	引き続き、様々な競技のトップアスリートやチームと直接交流ができるような事業実施を検討していく。
2-(1)-①	58	○	—	スポーツボランティア活動の普及と定着	生涯学習スポーツ振興課	東京2020 大会後もスポーツを「支える」活動が継続されるよう、関係団体との連携を図り、スポーツボランティア活動の更なる普及と体制の整備を図る。	区主催事業のほか、民間企業との連携によりスポーツボランティアの活動の場を確保した。	区主催事業のほか、民間企業や競技団体との連携によりスポーツボランティアの活動の場を確保した。	区主催事業のほか、民間企業や競技団体との連携によりスポーツボランティアの活動の場を確保した。	—	関係団体と連携したスポーツボランティア活動の場の確保により、スポーツボランティア活動の更なる普及に取り組むことができた。	引き続き、関係団体と連携し、スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図っていく。
2-(1)-②	58	—	—	ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	生涯学習スポーツ振興課	スポーツボランティアへの参加を拡大していくために、各競技やボランティアに関する知識を学ぶことができる講座を実施し、ボランティアリーダーとなれる人材の育成に取り組む。関係団体と連携し、スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図る。	延べ参加者数58名 オンライン開催含め選択制による講座を6回開催した。限定公開のYouTubeによるアーカイブ配信を本格開始した。また、実践活動を2回行った。	講座(年10回)及び実践活動を実施した。 講座参加者数:延120名 実践活動参加者数:延75名	講座(年10回)及び実践活動を実施した。 講座参加者数:延114名 実践活動参加者数:延21名	—	3年間で延べ388名の参加者に対し、スポーツボランティアへの参加拡大・人材の育成に取り組むことができた。	引き続き、講座を実施し、ボランティアリーダーとなれる人材の育成に取り組むとともに、登録者の増加のため、HPやSNSの周知に加え、広報みなどでの周知を実施していく。
2-(2)-①	58	—	—	部活動指導員の活用	教育指導担当	部活動指導員の任用や研修などの整備を進め、部活動指導員を活用して専門的な技術指導を行うことにより、体力、運動能力の向上をはじめ、協調性やマナーなどを習得することで、区立中学校の部活動の充実を図る。	学校地域支援本部と協力し、部活動指導員について、中学校に66名を派遣し、指導の充実を図った。	部活動指導員について、業務委託により、中学校の18部活に配置し、指導の充実を図った。	区立中学校10校の全ての部活動に部活動指導員を配置し、指導の充実と教員の働き方改革の推進に取り組んだ。	—	部活動指導員を活用して専門的な技術指導と教員の労働環境の改善に取り組んだ。	引き続き、委託事業者と連携して質の高い部活動指導員を継続して配置していくとともに、質を高める研修を実施していく。
2-(2)-②	58	—	—	武道における外部指導員の活用	教育指導担当	区立中学校における武道の授業に地域人材などを外部指導員として配置し、専門家の指導による技術面の向上を図るとともに、安全面に配慮した指導を行う。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら、専門性の高い指導を行った。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら、専門性の高い指導を行った。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら、専門性の高い指導を行った。	—	専門性の高い外部講師を各学校に配置することで、より効果的な指導を行うことができた。講師には各学校の実態に即した指導を行うよう依頼する必要がある。	引き続き、区立中学校における武道の授業に地域人材等を外部指導員として配置し、専門家の指導による技術面の向上を図るとともに、安全面に配慮した指導を行う。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
2-(3)-②	59	—	—	総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)の活性化	生涯学習スポーツ振興課	スポーカルは、地域で身近にスポーツを楽しめる場であり、区が推進するスポーツ振興の一翼を担う存在であることから、区内にある3つのスポーカル(スポーカル六本木、スポーカル高松、スポーカル青山)について、SNS等を活用した周知活動や活動の場の確保を支援し、スポーカルの認知度向上と活性化を図る。	・スポーカル六本木 会員数:348人 ・スポーカル高松 会員数:247人 ・スポーカル青山 会員数:212人 スポーカル周知イベント 開催回数:5回 参加者数:650人	・スポーカル六本木 会員数:401人 ・スポーカル高松 会員数:367人 ・スポーカル青山 会員数:243人 スポーカル周知イベント 開催回数:6回 会員数:746人	・スポーカル六本木 会員数:441人 ・スポーカル高松 会員数:473人 ・スポーカル青山 会員数:239人 ・スポーカル三田 会員数:65人 スポーカル周知イベント 開催回数:6回 参加者数:766人	—	多様な主体と連携することで、スポーカルへの関心を高め、会員数を増加させることができた。	令和5年度に設立した「スポーカル三田」の会員数を確保できるよう適切に支援していく。
2-(3)-③	60	—	—	社会体育団体等への支援	生涯学習スポーツ振興課	区におけるスポーツ指導者の育成やスポーツ振興を充実するため、社会体育団体等を支援する。(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会等への助成を行う。	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼を助成 助成団体数:16団体	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼を助成 助成団体数:17団体	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼を助成 助成団体数:10団体	—	事業の実施通知に記載する事業目的や条件が、わかりやすくなるよう見直しをした。	引き続き、丁寧な事業周知を行い、社会体育団体育成事業の目的に沿った活動へ助成を継続する。
2-(3)-④	60	—	—	スポーツ推進委員の活動支援	生涯学習スポーツ振興課	スポーツ推進委員の資質向上に向け、障害者スポーツや誰もが気軽に取り組めるニュースポーツを推進するための研修を実施するなど活動を支援する。	・障害者スポーツ理解促進研修(11/27) ・車いすバスケ研修(2/27) ・走り方研修(3/20) ・関東スポーツ推進委員研究大会、全国スポーツ推進委員研究大会は中止	・ブラインドサッカー研修(6/30) ・ドッチビー研修(7/31) ・忍者教室研修(9/3) ・関東スポーツ推進委員研究大会 中止 ・全国スポーツ推進委員研究大会(11/17, 11/18)	広域地区別研修に向けてのプレ研修会(12/10) 関東スポーツ推進委員研究大会(6/9～6/10)	—	障害者スポーツのほか、各種の研修を実施した。関東・全国スポーツ推進委員研究大会への参加を支援したことで、資質向上につなげることができた。	引き続き、スポーツ推進委員の資質向上に向け、障害者スポーツやニュースポーツの研修を実施するなど活動を支援する。
2-(4)-①	61	—	—	スポーツ推進委員との連携	生涯学習スポーツ振興課	スポーツ推進委員と連携し、地域スポーツ教室の開催によるスポーツ活動のきっかけづくりや、総合型地域スポーツ・文化クラブの運営支援を行い、地域スポーツ活動の推進に取り組む。	・地域スポーツ教室 開催回数:62回 参加者数:1,600人 ・スポーカル周知イベント 開催回数:5回 参加者数:650人	・地域スポーツ教室 開催回数:58回 参加者数:1,883人 ・スポーカル周知イベント 開催回数:6回 参加者数:746人	・地域スポーツ教室 開催回数:64回 参加者数:1,499人 ・スポーカル周知イベント 開催回数:6回 参加者数:766人	—	地域スポーツ教室を開催するなど、スポーツ活動を推進するきっかけに取り組むことができた。	引き続き地域でのスポーツ活動の推進に取り組む。
2-(4)-②	61	—	—	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	生涯学習スポーツ振興課	区民が広く参加できるスポーツ教室等を実施している(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、お台場海浜公園など区内の観光資源を活用したスポーツの催し物を開催するなど、区民のスポーツ活動の普及に取り組む。	お台場ナイトマラソンやトライアスロン教室入門編などの地域特性を生かした事業のほか、オンラインによるダンスやストレッチ教室、バーチャルドッジボール「HADO」などの事業を(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団が実施 回数:167回 参加者数:6,886人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン教室などの地域特性を生かした事業のほか、オンラインによる教室やイベント、バーチャルドッジボール「HADO」などの事業を(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団が実施 回数:238回 参加者数:13,764人	お台場駅伝大会やトライアスロン、ウインドサーフィン教室などの地域特性を生かした事業のほか、オンラインによる大会などの事業を(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団が実施 開催回数:307回 参加者数:12,759人	—	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、多様な事業を実施することができた。	区民のスポーツに対する興味や関心を高めていくために、魅力的な事業を展開していく。
2-(4)-③	61	—	—	(一財)港区体育協会との連携	生涯学習スポーツ振興課	競技スポーツにおける競技力の強化及び指導者の育成を役割とする(一財)港区体育協会と連携し、各加盟団体の実技指導員の活躍の場を拡げることで、質の高い指導による区民の競技スポーツの技術向上につなげる。	(一財)港区体育協会・(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団・指定管理者・教育委員会と定期的に各事業に関する情報共有を行い、連携を図っている。	(一財)港区体育協会・(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団・指定管理者と定期的に各事業に関する情報共有を行い、連携を図っている。	(一財)港区体育協会・(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団・指定管理者と定期的に各事業に関する情報共有を行い、連携を図っている。	—	3年間を通じて各競技団体の強化、競技力の向上に向けて事業を実施することができた。	各競技団体の強化、競技力の向上を図るため、事業の内容をより充実させるなど、連携を深めていく。
2-(4)-④	61	—	—	競技団体との連携	生涯学習スポーツ振興課	地域社会におけるスポーツの発展を目的として、競技団体と協定を締結している。互いが有する資源を活用し、連携することで、スポーツ振興事業を推進	連携協定に基づき、ラグビーの体験教室等を実施した。	連携協定に基づき、ラグビーの試合観戦やラグビー体験教室を実施した。	連携協定に基づき、ラグビーの試合観戦やラグビー体験教室を実施した。	—	3年間を通じて、トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実に取り組めた。	令和6年度以降もトップアスリートやトップチームとの交流の機会を設けることで、区民のスポーツ活動の充実に取り組む。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
3-(1)-①	62	○	—	区立のスポーツ施設等の環境整備	生涯学習スポーツ振興課	区立のスポーツ施設等について、施設利用者の要望も踏まえながら、気軽にスポーツを楽しめるような環境を整える。 特に、スポーツセンターの利用者が急増している状況を踏まえ、多種目の利用が可能なスポーツ施設の整備について検討	麻布運動場、芝浦中央公園運動場、芝公園多目的運動場において、令和3年11月1日から利用時間を通年で午前8時から午後9時までに拡大した。	麻布運動場野球場で、土埃の飛散の抑止及び雨天後の速やかな利用を可能とするため、野球場の人工芝生化工事を実施した。	誰もが身近な場所で安全に多種目のスポーツでの利用ができる施設として、令和6年1月に、(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設整備計画を策定した。	—	令和6年1月に、(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設整備計画を策定した。	管理運営計画の策定など、令和11年度中の施設開設に向けた準備を行う。
3-(1)-②	62	—	—	児童遊園の充実	土木課	地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域のコミュニティ形成の拠点のひとつとして、安心して集える魅力ある児童遊園を整備	令和3年度に地域の方々の声を反映した基本設計に基づき、「西町つなぐ児童遊園」を新規整備し、12月27日に供用開始した。	令和4年度に地域の方々の声を反映した基本設計に基づき、「古川さくら児童遊園」を新規整備し、令和5年2月1日に供用開始した。	令和5年度は地域の方々の声を反映した基本設計に基づき、「六本木三丁目児童遊園」の工事に着手した。令和6年度に整備完了予定。	令和5年度については、新たに整備し供用開始した児童遊園がなかったため。	児童遊園整備の際は、懇談会を開催し地域の方々の声を反映し、安心して集える魅力ある児童遊園の整備を進めてきた。	引き続き、地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域のコミュニティ形成の拠点のひとつとして、安心して集える魅力ある児童遊園を整備していく。
3-(1)-③	62	—	—	校庭の整備等、学校における運動環境の充実	学務課/学校施設担当	子どもたちが体育の授業や課外活動など、1年をとおして良好な校庭環境の中で使用できるよう、小学校の校庭改修の際に人工芝を導入するなど、安全性や機能性、維持管理面を考慮し、整備などを推進 体育の授業以外でも、放課後などの時間に児童・生徒が運動できるよう、学校の運動器具や用具を充実	芝小学校校庭に人工芝を導入するとともに、御成門小学校にボルダリングウォールを設置	区立の全小学校及び全幼稚園にボルダリングウォールを設置	児童の継続的なボルダリング利用の観点から、先行導入した白金小学校のボルダリングのルートの再設定を実施	学校との調整により、人工芝や運動器具・用具の導入を行うため、具体的な目標を定めていない。	小学校校庭への人工芝の導入を段階的に実施した。ボルダリングの設置により、子どもたちの体力向上の機会を創出した。	引き続き、学校と協議を行い、人工芝や運動器具・用具の整備を希望する学校への導入を行っていく。
3-(2)-①	63	—	—	校庭及び体育館等の開放	生涯学習スポーツ振興課	地域の人々のスポーツ活動の場として、教育委員会に登録した港区立学校施設等使用事前届出団体等に、全ての区立小・中学校の校庭及び体育館を地域に開放し、学校施設の活用を推進	登録団体以外の一般団体にも開放した。 令和3年度利用実績：15,532件 417,191人	登録団体以外の一般団体にも開放した。 令和4年度利用実績：18,059件 552,740人	登録団体以外の一般団体にも開放した。 令和5年度利用実績：21,103件 567,400人	—	地域のスポーツ活動団体へ地域に身近な場所でスポーツ活動の場を提供することができた。	引き続き、システム化による利用者の利便性向上と学校側の負担軽減を図りながら、施設開放の取組を実施する。
3-(2)-②	63	—	—	学校屋内プールの開放	生涯学習スポーツ振興課	誰もが身近なところでスポーツに親しめるよう、区立小・中学校の屋内プールを開放 学校屋内プールの利用を一層促進するため、水泳教室の充実や利用方法の改善に取り組むとともに、施設の周知を図り、活用を推進	区立小・中学校7校でプール開放を実施 年間プール利用者：46,701人 開放実施校7校で、12月～3月の期間に各10回程度の水泳教室を実施 水泳教室参加者数：延478人	区立小・中学校7校でプール開放を実施 年間プール利用者：57,065人 開放実施校7校で、4月～6月、10月～12月、1月～3月の期間に各10回程度の水泳教室を実施 水泳教室参加者数：延2,012人	区立小・中学校7校でプール開放を実施 年間プール利用者：59,416人 開放実施校7校で、6月～7月、7月～8月、10月～12月、1月～3月の期間に各10回程度の水泳教室を実施 水泳教室参加者数：延2,217人	—	通年で水泳教室を実施することで、区民に対し運動する機会を提供することができた。	小・中学生にスポーツ活動の機会を創出し、健康づくりを促進するため、引き続き夏休み期間中に短期集中型の水泳教室を実施する。
3-(2)-③	63	—	—	遊び場開放事業の実施	生涯学習スポーツ振興課	子どもたちを交通事故、その他の危険から守るとともに、健全育成を図ることを目的として、区立小学校の校庭及び体育館を、幼児・児童の身近で安全な遊び場として開放	実施校：17校 参加者数：2,273人	実施校：18校 参加者数：2,612人	実施校：18校 参加者数：1,673人	—	幼児・児童の身近で安全な遊び場を確保することができた。	周知方法の工夫やイベントを実施するなど、更なる利用者増加に努める。
3-(2)-④	63	—	—	園庭等の開放	学務課	未就園児に対して、区立幼稚園の園庭や園舎などを開放し、遊び場を提供	実施園：12園 参加者数：延べ1,089人	実施園：12園 参加者数：延べ2,611人	実施園：12園 参加者数：延べ3,067人	—	未就園児の会の参加者が令和3年度から令和5年度にかけて比べ1,978人増加するなど、多くの方に利用していた。	引き続き、未就園児に対して園庭等を開放することで、交流の機会を設けていく。
3-(3)-①	64	—	—	大学等のスポーツ施設等の活用	生涯学習スポーツ振興課	区内大学等と連携し、区と大学等の所有する知識や施設等を最大限活用したスポーツ活動の拡充に努める。 身近な場所で区民大会等を開催できるように、都立運動場等の利用を継続	東京女子学園に打診し、改築後の学校体育館を区民に開放していただくことを確認した。	東京海洋大学品川キャンパスのグラウンドについて、地域への活用を打診した。 また、民間企業の施設活用に関する協議を開始した。	JX金属株式会社と締結した連携協力協定に基づき、企業が保有する剣道場の活用について協議を開始	—	企業が保有するスポーツ施設の活用については、協議や試行利用を行うなど、具体的な検討が進んだ。	今後は、企業、大学等が保有するスポーツ施設を活用させてもらえる企業、大学等を拡大していく必要がある。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
3-(3)-②	64	—	—	区外における運動施設の活用	生涯学習スポーツ振興課	区民が幅広くスポーツ活動に参加できるよう、区内に限られた運動施設だけではなく、区外にある運動施設を活用できるよう検討	江戸川河川敷グラウンドを借り上げ、少年野球チームや一般の団体への貸し出しを行った。	江戸川河川敷グラウンドを借り上げ、少年野球チームや一般の団体への貸し出しを行った。	民間事業者から借り上げている埼玉県三郷市所在の江戸川河川敷グラウンドの野球場3面に加え、新たにサッカー場1面を土曜と祝日に借り上げるよう調整を実施。	—	令和6年度から新たにサッカー場1面を借上げできるよう調整できた。	令和6年4月から、新たにサッカー場1面を土曜と祝日に借り上げ、運用を開始する。
3-(3)-③	64	—	—	プレーパークの推進	各総合支所まちづくり課/土木課	子どもがのびのびと思い切り遊べるように禁止事項をできるだけ少なくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に、自然の中で子どもがやりたいことを自分自身の手で実現していき、遊ぶことをとおして、自主性や社会性を身に付け、豊かに成長していくため冒険遊び場(プレーパーク)づくりに取り組む。	【芝浦港南】港南三丁目遊び場24回実施 【土木課】高輪森の公園 154回 亀塚公園 10回	【芝浦港南】港南三丁目遊び場25回実施 【高輪】高輪森の公園 164回 亀塚公園 22回	【麻布】有栖川宮記念公園 5回 【芝浦港南】港南三丁目遊び場 25回 【高輪】高輪森の公園 167回 亀塚公園 31回	—	令和3年度から5年度で開催回数が40回増加した。また、プレーパークを運営している区民団体の自主運営に向けた取り組みを推進してきた。	引き続き、区民団体の自主運営に向けた支援を行う。 【麻布】令和6年度予定5回 【芝浦港南】令和6年度予定港南三丁目遊び場 28回 【高輪】令和6年度予定高輪森の公園 173回 亀塚公園 40回
4-(1)-①	65	—	—	障害者のスポーツ教室の開催	障害者福祉課	障害のある人を対象に、いすに座りながらできる簡単なストレッチやタオルなどを使った運動と筋力トレーニングを行う「リフレッシュ体操教室ホップ」と、マットを使い、自分で動かせる範囲で身体を動かし健康の増進を図る「リフレッシュ体操教室ステップ」を実施	年間19回開催 参加者:延158名	年間24回開催 参加者:延232名	年間24回開催 参加者:延217名	—	感染症感染防止対策を踏まえて、実施する。	幅広い内容の講座を実施することにより、障害者の交流の確保と、障害者自身の自己啓発に役立つよう支援していく。
4-(1)-②	65	—	—	いちよう学級の実施	障害者福祉課	知的障害者がスポーツ・学習等を通じ社会参加への適応力を高めるために、レクリエーション・自然体験などを行う「いちよう学級」を実施 内容の見直しを行いながら、更に充実させる。	年間活動回数 7回 受講者数:延255人	年間活動回数:13回 受講者数:延466人	・年間活動回数:13回 ・受講者数:延507人	—	新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に行いつつ、活動内容を工夫しながら、受講者数の増加につなげた。令和5年度は、数年ぶりに宿泊活動を行うことができた。 受講者の年齢層が幅広く、それぞれに対応した取組の実施が課題である。	幅広い年齢層(20代から70代まで)の受講者にとって、より一層有意義な取組となるよう、実施内容を工夫して事業を進める。
4-(1)-③	65	—	—	スポーツ指導員の配置	生涯学習スポーツ振興課	障害者が気軽にスポーツに親しめるよう、(公財)日本障がい者スポーツ協会が認定する「障がい者スポーツ指導員」を区立スポーツ施設に順次配置する。	令和3年度に初級障害者スポーツ指導員を港区スポーツセンターと区立運動場併せて7名配置	令和4年度に初級障害者スポーツ指導員を港区スポーツセンターと区立運動場併せて7名配置。年度途中取得者含めると10名配置	令和5年度にパラスポーツ指導員を港区スポーツセンターと区立運動場併せて9名配置	—	各運動施設に指導員を配置することができたが、退職等により職員がいない期間もあった。	指導員を増やすことで各施設に常時指導員がいる状況をつくっていく。
4-(2)-①	65	—	—	障害者スポーツの理解の推進	生涯学習スポーツ振興課	障害者スポーツに携わる人のみならず、障害者スポーツへの理解を深めることができるよう、障害者スポーツを題材とした研修等を実施	区職員及び区民に対し、障害者スポーツ理解促進研修を実施した。 実施回数:2回 参加者:23人	区職員及び区民に対し、障害者スポーツ理解促進研修を実施した。 実施回数:2回 参加者数:17人	障害者スポーツ理解促進研修をeラーニングを使用し、実施した。 視聴者数:82人	—	区民、区職員、指定管理者に対し効果的な研修を実施することができた。	オンライン研修を導入し、多くの方に参加してもらえるよう実施方法を工夫する。
4-(2)-②	65	—	—	障害者スポーツの普及・啓発	生涯学習スポーツ振興課	障害者スポーツ体験会の実施や障害者スポーツ団体の定期的な活動場所を確保するほか、SNS等を活用し、障害者スポーツに関する様々な情報の提供方法を工夫することで、障害者スポーツの普及拡大を図る。	サウンドテーブルテニス競技団体に対し、サウンドテーブルテニスの練習会場を提供した。	(一社)日本障がい者サッカー連盟と連携し、ブラインドサッカーチームの練習場所を提供するとともに、障害者サッカーの体験を行った。	(一社)日本障がい者サッカー連盟と連携し、ブラインドサッカーチームの練習場所を提供するとともに、障害者サッカーの体験を行った。	—	定期的な活動場所の確保と障害者スポーツの普及に向けて競技団体と協議を進めることができた。	多くの区民に障害者スポーツを普及できるよう、競技団体との連携を深め、体制をつくっていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
4-(3)-①	66	○	—	障害者スポーツの観戦・体験機会の創出	生涯学習スポーツ振興課	試合や大会の誘致などにより、障害者スポーツの観戦機会の充実を図るとともに、体験会の実施により、定期的に障害者スポーツに触れる機会を創出	車いすバスケットボールやサウンドテーブルテニスなどの障害者スポーツの体験会を実施した。 4回 123人	ポッチャや車いすバスケットボールの体験会を実施した。 1回:65人	ポッチャや車いすバスケットボールの体験会を実施した。 2回:52人 障がい者サッカーレガシーマッチにて障がい者スポーツ体験を実施した。 1回:651人	—	みなとパーク芝浦のフェスティバルと連携することで例年よりも増やすことで多くの区民の参加を得た。	今後もみなとパーク芝浦のフェスティバルと連携し、多くの区民の方が参加できるように実施していく。
4-(3)-②	66	—	—	障害者スポーツの集いの充実	生涯学習スポーツ振興課	障害のある人もない人もスポーツを通じて交流する集いを実施する。障害者団体やスポーツ推進委員、障害者福祉課、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携して、障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しめるよう内容を充実するとともに、催し物の周知を強化	令和3年12月12日に予定していたが中止し、代替事業「チャレンジ車いすバスケット」を実施 参加人数:24人	令和4年11月13日(日)に開催 参加者数:46人 ポッチャやサウンドテーブルテニスなどを実施	令和5年11月12日(日)に開催 参加者数:76人 ポッチャやサウンドテーブルテニスなどを実施	—	障害者福祉課やスポーツ推進委員と連携し、障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しめるイベントを実施できた。	参加者の増加を図るため、周知を強化していく。
4-(3)-③	66	—	—	障害者スポーツ環境の充実	生涯学習スポーツ振興課	障害のある人が安心してスポーツを楽しめるよう、障害者スポーツ用品の充実を図り、障害のある人もない人も同じ場所で一緒にスポーツを行うことができる環境を整える。 障害者スポーツの催し物等を実施することで、障害者が利用しやすい環境が整っていることを周知する。	これまで購入した競技用車いす等の用具を活用し、誰でもスポーツ開放枠として、障害者スポーツが体験できる事業を毎月実施した。	以前購入したポッチャ等の障害者スポーツ用具を活用し、障害者スポーツイベントを開催した。	これまで購入した競技用車いす等の用具を活用し、誰でもスポーツ開放枠として、障害者スポーツが体験できる事業を毎月2回実施した。	—	障害者スポーツイベントを開催することで、障害者の方が利用しやすい環境が整っていることを周知できた。	障害のある人もない人も同じ場所で一緒にスポーツを行うことができる環境が整っていることを更に周知していく。
5-(1)-①	67	—	—	観光資源を活用したスポーツ活動の実施	生涯学習スポーツ振興課	区内の名所を見物するまち歩きなど、観光資源を活用した催し物や港区観光大使との連携により、スポーツの振興が図られるよう取り組む。	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロゲイニング」を実施 開催回数:1回 参加者数:60人	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う観光ロゲイニングを実施 開催回数:2回 参加者数:117人	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う観光ロゲイニングを実施 開催回数:2回 参加者数:34人	—	区内の観光名所を巡ることで港区の魅力を知ってもらいながら、身体を動かすこともできるという効果的な事業を展開することができた。	区内にある多くの観光資源を、地域ごとに偏りなく活用できるよう進めていく。
5-(1)-②	67	—	—	立地特性を生かした催し物の実施	生涯学習スポーツ振興課	お台場エリアの立地特性を生かして、お台場でのマラソンのほか、水辺を活用した取組としてウインドサーフィンやビーチヨガ、トライアスロン教室等を開催	・お台場ナイトマラソンやトライアスロン教室は中止 ・区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロゲイニング」を実施 開催回数:1回 参加者数:60人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン教室等のお台場を活用した事業のほか、観光名所を巡りながら得点を集めて競うロゲイニングを実施 開催回数:7回 参加者数:357人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン教室等のお台場を活用した事業のほか、災害時に必要な身体の動きをスポーツに落とし込んだ防災スポーツ体験会を実施 開催回数:5回 参加者数:327人	—	東京2020大会や新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかった、お台場の海を生かした事業を行うことができた。	引き続き、お台場の立地特性を生かした事業を検討していく。
5-(2)-①	68	○	—	トップアスリート及びチームとの交流 [再掲]	生涯学習スポーツ振興課	トップアスリートやチームから直接指導を受ける機会を創出するため、区内企業等との連携により、スポーツ教室や交流事業を実施する。						
5-(2)-②	68	—	—	国際性豊かな催し物の実施	生涯学習スポーツ振興課	大使館等と連携し、小・中学校や町会・自治会等の地域において、スポーツを通じた国際交流や相互理解を育む催し物を実施	外国人の参加を促すため、大使館に対し、タグラグビー教室の周知をした。	外国人が学校屋内プールやスポーツ施設を利用しやすいよう、英語で表記するなど配慮して周知した。	外国人に広く周知するため、区民スポーツ・体育祭等の開催情報を英字広報紙「Minato Monthly」に掲載した。	—	外国人の利用を促すため周知方法を工夫することができた。	引き続き情報提供の方法などを工夫しながら取組を進めていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
5-(2)-③	68	—	—	企業との連携協 定	生涯学習 スポーツ 振興課	区内企業と連携協定を締結する ことで、トップレベルのアスリー トやプロスポーツチームなどのス ポーツ資源を生かした、スポーツ 振興事業を推進	サントリー㈱との連携 によるサンゴリアスラ グビー体験教室(小学 生対象) 日程:9月11日(土) 新型コロナウイルス感 染症の影響により中止	・サンゴリアスラグビー 体験教室 日程:6月11日(土) 参加人数:78名 ・港区×明治安田生命 パラスポーツ体験教 室 日程:6月18日(土) 参加人数:33名 ・港区×明治安田生命 サッカー教室 日程:1月15日(日) 参加人数:94人	・港区×明治安田生命 インクルーシブサッカ ー教室 日程:6月17日(土) 参加人数:109名 ・サンゴリアスラグビー 体験教室 日程:6月25日(日) 参加人数:71人 ・Panasonicパンスー ズ練習見学 日程:12月8日(金) 参加人数:497人 ・港区×明治安田生命 サッカー教室 日程:2月25日(日) 参加人数:32人 ・車椅子ラグビー教室 日程:3月23日(土) 参加者人数:15人	—	トップアスリー トやトップチーム との交流により、 区民のスポーツ活 動の充実に取り組 めた。	引き続き、様々な競技の トップアスリートやチーム と直接交流ができるような 事業実施を検討していく。
5-(2)-④	68	—	—	総合支所との連 携強化	生涯学習 スポーツ 振興課	総合支所とスポーツ関連事業の 情報交換を行い、スポーツ事業の 連携強化に取り組む。	芝浦港南地区総合支 所まちづくり課と連携 し、芝浦中央公園でス ケートボードの体験教 室を実施した。 日にち:2月5日(土) 参加者:26人	赤坂地区総合支所や 競技団体等と連携し、4 月24日(日)に秩父宮 みなとラグビーまつり を実施した。また、芝浦 港南支所と連携し、3月 4日(土)のみなどパー ク芝浦フェスティバル において、障害者スポ ーツの体験を実施した。	赤坂地区総合支所や 競技団体等と連携する 秩父宮みなとラグビー まつりは中止となった。 芝浦港南支所と連携 し、3月2日(土)のみ などパーク芝浦フェス ティバルにおいて、障 がい者サッカーレガシ ーマッチ2024を実施した。	—	赤坂地区総合支 所及び芝浦港南地 区総合支所との連 携を強化すること ができた。	地区ごとの特性やニーズ を踏まえた効果的なスポ ーツ施策を展開していけるよ う、各地区総合支所との情 報交換を密に行っていく。
5-(3)-①	69	○	—	MINATOシ ティハーフマラ ソンの開催【再 掲】	生涯学習 スポーツ 振興課	大会の開催に当たり、地域振 興、国際化、教育、文化など、地 域共生社会の実現に向けた基盤づ くりとなるよう区内企業をはじめ とする様々な関係団体等と連携す るほか、区民等がボランティアと して参加することで、MINAT Oシティハーフマラソンを地域ぐ るみで世界に誇れる大会へと創り 上げ、また、育てていくことに よって、コミュニティの活性化、 港区への愛着と誇りの機会の創出 につなげる。						
5-(3)-②	69	—	—	ポート・スポ ーツ・サポーター ズクラブ事業の 実施【再掲】	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツボランティアへの参加 を拡大していくために、各競技や ボランティアに関する知識を学ぶ ことができる講座を実施し、ボラ ンティアリーダーとなれる人材の 育成に取り組む。 関係団体と連携し、スポーツボラ ンティアが活躍できる機会の充実 を図る。						

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
5-(3)-③	69	—	—	東京2020大会の 気運醸成事業の 推進とレガシー の創出	生涯学習 スポーツ 振興課	東京2020 大会を契機として、「する」「みる」「支える」スポーツ活動への気運が更に高まり、大会終了後も継続されるよう、区民や民間企業等と連携して取り組む。	・東京2020大会に向け、企業連携による気運醸成事業を実施した。 ・スポーツボランティア活動を継続させるため、民間企業等との連携により活動の場を確保した。	東京2020大会により高まったスポーツ活動への気運を継続するため、区内で行われるスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を補助する事業を令和4年度より開始した。 スポーツを支える活動の定着を図るため、令和4年度よりスポーツボランティア育成事業を登録制で実施したほか、民間企業等との連携により活動の場を確保した。	引き続き、区内で行われるスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を補助する事業を実施した。 スポーツボランティアの登録者は100名に達し、民間企業等との連携により、より多くの活動の場を確保することができた。	—	現行の補助金事業が令和6年度で終了予定のため、新たなスポーツ活動の支援策の検討の必要がある。	現行の補助金事業に代わる支援策を検討し、令和7年度から実施する。 スポーツボランティアについては、世界陸上2025東京大会やデフリンピック2025東京大会等を見据え、講座内容の充実や実践活動の場を拡大していく。
5-(3)-④	70	—	—	東京2020大会等 を通じてネット ワークの拡大を 活用したスポ ーツの推進	生涯学習 スポーツ 振興課	ラグビーワールドカップ2019 や東京2020大会を契機として構築した競技団体や企業とのネットワークを生かし、区民や団体との協働により、「する」「みる」「支える」スポーツ活動の推進を図る。	・イギリスオリンピック委員会や英国大使館協力により、東京2020大会開催時のイギリスとの関係を記録したデジタルブックを作成した。 ・サントリーとの連携により、サンゴリアスによるラグビー体験教室を予定していたが、中止となった。	サントリー(株)との連携により、サンゴリアスを講師としたラグビー教室を6月11日(土)に実施 参加者数:78人	サントリー(株)との連携により、サンゴリアスを講師としたラグビー教室を6月25日(日)に実施 参加人数:71人	—	東京2020大会等を通じて築いた関係により、連携して取組を進めることができた。	引き続き、競技団体や企業との関係を継続し、区民のスポーツ活動が広がるような取組を進める。
5-(3)-⑤	70	—	—	ラグビーを生か したスポーツ振 興	生涯学習 スポーツ 振興課	区と(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく連携により、ラグビーの観戦機会の提供やタグラグビー教室等を通じ、ラグビーワールドカップ2019を契機として高まった「する」「みる」「支える」スポーツ活動への気運が継続されるよう取り組む。	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのタグラグビー教室や、高校生以上を対象とした初心者向けのタグラグビー教室等を実施した。 実施回数:153回 参加者数:5,710人	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのタグラグビー教室や、初心者タグラグビー教室等を実施した。 実施回数:131回 参加者数:5,892人	・ラグビーワールドカップ2023の気運醸成事業として、パブリックビューイングやラグビー体験教室、パネル展示を実施した。 パブリックビューイング実施回数:3回 参加者数:505人 体験教室実施回数:4回 参加者数:204人 ・幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのタグラグビー教室や、初心者タグラグビー教室等を実施した。 実施回数:161回 参加者数:5,068人	—	タグラグビー教室等でスポーツ活動の気運の継続を図りながら、ラグビーワールドカップ2023でさらなる気運醸成に取り組みました。	引き続き、タグラグビー教室の開催などで気運の継続を図っていく。
6-(1)-①	71	—	—	健康づくり自主 グループの育成 及び支援	健康推進 課	健康増進センター(ヘルシーナ)で実施する健康教室等の参加者を主体に結成された、健康づくり自主グループの活動を支援するとともに、情報提供やポスター・チラシを施設に掲示するなどの支援をする。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	—	従来からの自主グループ(3団体)で固定され、新規の団体が結成されない。	令和6年度に指定管理者が変更になったことにより、新たな自主グループやサークルの結成を促すとともに、今までの成果を発表する場を提供するなど、様々な視点からグループの支援をしていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
6-(1)-②	71	—	—	健康づくりサ ポーターの育成 及び支援	健康推進 課	健康づくりに取り組んでいる個人や企業・飲食店などの団体を「健康づくりサポーター」として登録し、それぞれの活動を通じて、地域の区民が身近な場所で自主的に健康づくりを継続してできるよう支援 区ホームページで、登録している健康づくりサポーターを紹介し、活動内容などの情報提供を行う。	健康づくりサポーターの活動を広報で周知し、区ホームページで新規団体や活用実績等の紹介を随時更新した。 活動実績:年間14回 延参加者数:306人	健康づくりサポーターの活動を広報で周知。そのほか、各団体がチラシを作成し、活動を関係各所に周知した。 区ホームページでも新規団体や活動実績等の紹介を随時更新しました。 活動実績:21回 延参加者数:934人	健康づくりサポーターの活動を広報で周知。そのほか、各団体がチラシを作成し、活動を関係各所に周知した。 区ホームページでも新規団体や活動実績等の紹介を随時更新しました。 活動実績:21回 延参加者数:917人	—	令和5年度は、3団体が新規登録を行っており、毎年必ず新規登録団体が数件はある。休眠団体も多いため、毎年度末の更新等で活動状況を確認していく。	新規登録を希望する団体が多く、今後も増加すると考える。 既存の団体、新規登録団体について、区ホームページでのサポーター紹介や活動紹介をしていきたい。
6-(1)-③	71	—	—	ウォーキング マップの利用及 び活用促進	健康推進 課	区内8コースの距離や所要時間、消費カロリーなどをまとめた「すこやかマップウォーキング」を利用して身近で無理のない「ウォーキング」により、運動習慣の定着を図る。	区有施設をはじめ、希望者にマップを配布して活用を促した。また引き続き多くの方が活用できるよう増版を行った。	区有施設をはじめ、希望者にマップを配布して活用を促した。新たにサイクリングコースを追加したマップの作成を開始した。	区有施設をはじめ、希望者にマップを配布して活用を促した。在庫減のため引き続き多くの方が活用できるよう増版を行った。	—	増刷する年度もあり需要は高い。港区内で新たな建物が建築されることも多いため今後改訂が必要。	適宜マップを更新し、最新の情報を区民に提供し、多くの区民に運動習慣の定着を促したい。
6-(1)-④	71	—	—	健康サポート教室 (65歳未満) の開催	健康推進 課	65歳未満の区民を対象に、健康への関心を高め、日常生活の中で、健康増進、疾病の予防、生活習慣病の予防・悪化防止の正しい知識の普及・啓発を図る。	体の状態が把握できる姿勢測定や、自宅で行える運動を紹介する生活習慣病予防講座を実施した。実施回数:3回 参加人数:48人	体の状態が把握できる姿勢測定や、実践的な運動講座を実施した。実施回数:2回 参加人数:61人	体の状態が把握できる姿勢測定や、実践的な運動講座を実施した。実施回数:3回 参加人数:79人	—	姿勢測定を行うことで、健康への関心を高めるきっかけとなり、実践的な運動も実施できた。	引き続き、健康への関心を高めるきっかけづくりの提供を行いながら、生活習慣病の予防等を図る。
6-(1)-⑤	72	—	—	「港区子ども健康読本」の発行	健康推進 課	子どもの生活習慣病や感染症等についての正しい知識、喫煙、飲酒、麻薬、覚醒剤などの影響等を盛り込んだ「港区子ども健康読本」を作製し、区立小学校を通じて、小学校6年生に配布し、学童期からの健康全般に関する知識の普及を図る。	令和3年度版からホームページで閲覧できるようにした。保健主任会及び、各学校校長にメールで活用依頼・周知した。令和3年4月から12月までのホームページ閲覧数は、1,139でした。	令和4年度からが小学生1人1台利用しているタブレットでも健康読本が見ることができるよう対応した。高学年に対しては、ホームページ周知のためのチラシの配布を行った。	小学生が1人1台利用しているタブレットで子ども健康読本が見ることができるよう対応した。内容についての見直しと、学校保健と保健所の情報交換会を実施した。	—	子ども健康読本の内容について定期的な見直しが必要	「港区地域保健と学校保健連絡会」を定期的に開催し子ども健康読本の内容を検討するとともに学校保健との情報交換を行い、学童期からの健康全般に関する知識の普及に取り組みます。
6-(1)-⑥	72	—	○	子どもの健康な 身体づくりに向 けた食育の推進	学務課	「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム(家庭編)」を活用し、子どもが生涯にわたり健康と体力を維持できる能力を獲得するための食育を推進	冊子の配布:全1,2年生 配布数:3,620冊	ホームページを活用し、広く周知している。	「みなと食育ブック ヘルシージュニア育成プログラム(家庭編)」をホームページに掲載し、引き続き活用を周知している。	—	ホームページ掲載内容の周知を継続する必要がある。	引き続き、家庭での食育の取組を支援していく。
6-(1)-⑦	72	—	—	「親子ふれあい ひろば」での催 し物の開催	子ども家 庭支援セ ンター	子ども及び家庭に関する相談に応じ、必要な支援の実施や情報提供を行う。「親子ふれあいひろば」で親子が楽しめるプログラムを取り入れ、親子の心身の健康増進を図る。	スタッフや子育て・まちづくり支援プロデューサーが中心となり、親子参加型のプログラムを毎日実施した。親子ふれあいひろば 年間利用者数 12,655人	スタッフや子育て・まちづくり支援プロデューサーが中心となり、親子参加型のプログラムを毎日実施した。親子ふれあいひろば 年間利用者数 17,276人	スタッフや子育て・まちづくり支援プロデューサーが中心となり、親子参加型のプログラムを毎日実施した。親子ふれあいひろば 年間利用者数 17,187人	—	様々なプログラムを実施して親子の心身の健康増進を図ることができた。	隣接する地域交流室(カフェ)の土日営業に伴い、利用者の増加を見越した親子が楽しめるプログラムを実施する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
6-(2)-①	73	—	—	介護予防を担う 人材の養成	高齢者支 援課	介護予防に興味を持ち、地域の リーダーとなって介護予防活動を 主体的・積極的に取り組んでいく 介護予防リーダーを養成する。介 護予防リーダーが、介護予防総合 センター(ラクッチャ)やいきい きプラザ、高齢者相談センターな どと連携して、介護予防活動を積 極的に展開する。 また、介護予防体操(みんなとい きいき体操)の普及や介護予防事 業のサポートをする介護予防サ ポーターを養成する。	介護予防リーダー養 成講座を実施:7名養 成 介護予防サポーター養 成講座を実施:①介護 予防総合センター8名 養成②ありすいきい きプラザ5名養成 フォローアップ研修の 実施:2回	介護予防リーダー養 成講座を実施:11名養 成 介護予防サポーター 養成講座を実施:①介 護予防総合センター4 名養成②神明いきい きプラザ2名養成 フォローアップ研修の 実施:2回	介護予防リーダー養 成講座を実施:9名養成 介護予防サポーター 養成講座を実施:①介 護予防総合センター11 名養成②青山いきい きプラザ1名養成 フォローアップ研修の 実施:2回	—	・20代から70代の 幅広い世代の参加 があった。 ・介護予防総合セン ターでの参加者数 に比べ、いきいき プラザでの参加者 が少ない。	介護予防総合センターだけ でなく、他地区のいきいき プラザでも参加者を増やして いくため、周知等いきいき プラザと連携して行っていく。
6-(2)-②	73	—	—	介護予防体操 (みんなといき いき体操)の普及	高齢者支 援課	介護予防総合センター(ラクッ チャ)やいきいきプラザなどで介 護予防体操を実施するとともに、 区民へのDVDの貸出もあわせて 行う。また、動画の配信にも取り 組む。	いきいきプラザ等で、 動画を放映し普及を 行った。	動画のリニューアルを 行い、ホームページで公 開した。	いきいきプラザ等で、 動画を放映し、介護予 防フェスティバル等のイ ベントも活用することで 周知を図った。	—	ホームページで動 画を公開、施設で 動画の放映に取り 組むことができた。	みんなといきいき体操の更 なる普及のために、体操マス ターの活躍を推進する。
6-(2)-③	73	—	—	介護予防事業の 充実	高齢者支 援課	運動機能、生活機能、栄養状態 の維持・向上を図るため、介護予 防総合センター(ラクッチャ)を 中核機関として、いきいきプラ ザ、スポーツセンター、高齢者相 談センターなどのさらなる連携 強化を推進し、魅力ある効果的な 事業や教室を実施するとともに、 介護予防事業の拡充に取り組む。 また、ICTを活用した新たな事 業など、個々の生活に合わせて多 くの人が介護予防に取り組めるよ う、多様な介護予防プログラムを 実施する。	介護予防総合セン ターやいきいきプラザ 等で介護予防事業を実 施した。 また、介護予防総合セ ンターでは、「自宅で できるオンラインエクサ サイズ」を開発した。	介護予防総合セン ターやいきいきプラザ 等で介護予防事業を実 施した。 また、介護予防総合セ ンターでは、継続して 「自宅でできるオンラ インエクササイズ」を 実施している他、新た に初めてスマホ教室 やオンラインによる 個別相談等を実 施した。	令和6年度より、い きいきプラザ等介護予 防事業実施施設で展 開できるよう、介護 予防総合センターで 「低栄養・生活習慣 病予防改善教室」の 開発・運営をした。	—	その年に必要と されている事業や 教室を実施した。オ ンライン事業は、新 型コロナウイルス感 染症が5類に移行 したことにより減 少傾向にある。	・多様な生活様式に 対応し多くの人が 介護予防に取り組 めるよう、引き続 きオンラインでの 事業も実施する。 ・介護予防総合セ ンターで開発した 「低栄養・生活習慣 病予防改善教室」 を各地区のいき いきプラザで実施 する。
6-(2)-④	73	—	—	認知症予防事業 の実施	高齢者支 援課	認知症予防に効果があると言わ れているウォーキング等の有酸素 運動を中心とした事業を行う。事 業に参加して集団で行う運動だ けではなく、個人が気軽に有酸素 運動の習慣をつけることにより、 認知症の予防やフレイル対策を行 うことができる。	認知症予防に効果的 なプログラムとして、有 酸素運動と芸術鑑賞 のプログラムを実施。 延べ参加者数117人	1コース6回を2コ ース実施した。自宅 でも取り組めるス トレッチや脳トレ を実施 延べ参加者数368人	認知症予防のプログ ラム(有酸素運動や デュアルタスクの 予防運動)を計2 コース実施した。 延べ参加者数376人	—	1コース6回とし て2ヶ月にわたり 実施したが、参加 者からは年間を通 して実施してほしい という声があった。 2週間に1回の 実施ではなかなか 習慣づけるところ までは繋がらな かった。	R6からは「認知 症予防事業」とし て1コース4回、計 3コース実施予定。 実施間隔も隔週 ではなく毎週実施 とし、参加者の 習慣につながるよ うにする。
6-(2)-⑤	73	—	—	訪問型介護予防 事業の実施	高齢者支 援課	通所型介護予防サービスを利用 できない人や家族を対象に、看護 師などが訪問して、介護予防の ための運動指導や保健指導など を行い、要介護状態になることを 防止するとともに状態の改善を 図る。	高齢者相談セン ターにおいて、介 護予防のための 相談や訪問対応 を日常的に実施 した。	高齢者相談セン ターにおいて、 介護予防の相談 や訪問を日常的 に実施した。	高齢者相談セン ターにおいて、 介護予防の相談 や訪問を日常的 に実施した。	—	高齢者相談セン ターの日常的な 業務の中で対応 した。	現状の取組は、 高齢者相談セン ターの相談業務 等の一環で行っ ており、訪問型 介護予防事業は、 廃止を検討して いる(令和6年度 中)。
6-(3)-①	74	○	○	スポーツと健康 づくりをともに 支える環境の充 実	生涯学習 スポーツ 振興課/健 康推進課	区民が日常生活において、ス ポーツを通じた健康の維持、増 進に気軽に取り組めるよう、身 近な地域でスポーツ活動に親し み、楽しく身体を動かせる場と、 生活習慣病やフレイル等の予 防に向けた健康づくりを行う場 が連携することで、どちらの 活動も相互にできる環境づく りを図る。	赤坂地区におけ るスポーツ施設の 需要に対応する ため、北青山三 丁目地区にスポ ーツ施設を整備 することを決定 した。	北青山三丁目地 区へのスポーツ 施設整備に向け て、協議を進め ている。	高齢者支援課の 委託事業として 水中トレーニング 及び水中健康ト レーニングをス ポーツセンター と赤坂学園赤坂 中学校等で11 クール開催 延べ参加者数 573人 教室の案内を ラクッチャ等 施設でも行った。	—	令和4年度から 新設した「水中 健康トレーニング」 が定員に対して 約3倍の申込み があり、「水中ト レーニング講座」 とクール数の調 整をすることで、 区民ニーズに沿 った教室運営を している。	「水中トレーニング 講座」等を実施 していない施設 にも教室内容を 共有したり、ス ポーツセンター で実施してい ない陸上でのト レーニング教室 を区民への案内 として選択脚を 広げること、区 民の満足度向上 や施設資源の活 用、スポーツセン ターと区有施設 の連携を推進し ていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	前期3年間(R3～ R5)の評価と事業 の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
6-(3)-②	74	—	—	ヘルシーナにおける健康増進の取組の実施	健康推進課	健康増進センター（ヘルシーナ）内のトレーニングルームや体育館で自主的に健康づくりに取り組むことができる事業を実施する。また、ヘルシーナで健康増進・健康づくりのために、検査、体力測定などの健康度測定や医師によるカウンセリング、栄養指導、運動指導を行うメディカルチェック事業を実施する。生活習慣病予防・改善のための事業や健康づくり教室など、区民の多様なニーズに応えるプログラムを拡充する。	健康度測定は土曜のみ実施した。健康増進の普及啓発や出前指導では、SDGsウィークに参加するなど可能な範囲で実施した。教室事業や自主グループ支援は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施した。	土曜日に行っていた健康度測定を水曜日にも実施した。3年ぶりに赤坂コミュニティまつりにも出展し、ヘルシーナの活動の周知に努めた。昨年度に引き続き、感染症対策に気を付けながら、教室事業にも様々なメニューを取り入れ、参加者から好評いただいた。	週に2回(水曜日と土曜日)の健康度測定が定着し、館内でのイベントや教室事業にもぎわいが戻ってきた。	—	健康度測定の受診者が参加できる健康づくり事業は、コースや回数が細分化されているため、利用者が効率よく参加できるように工夫してスケジューリングする必要がある。	指定管理者が変更になったことにより、新たな事業者が持つ知見を少しずつ事業に反映して改善に取り組む必要がある。 また、広報みなどでの事業周知が制限されたため、今後の広報の媒体を模索していく必要がある。
6-(3)-③	74	—	—	スポーツセンターと区有施設との連携事業の推進	高齢者支援課/健康推進課/生涯学習スポーツ振興課	区民の健康保持・増進の視点で、健康増進センター（ヘルシーナ）や介護予防総合センター（ラックチャ）と連携し、水中トレーニング教室などの事業を実施	高齢者支援課の委託事業として水中トレーニングの教室をスポーツセンターや赤坂小学校等で、13期開催延参加者数295人	高齢者支援課の委託事業として水中トレーニングの教室をスポーツセンターや赤坂小学校等で、13期開催延参加者数111人	高齢者支援課の委託事業として水中トレーニング及び水中健康トレーニングをスポーツセンターと赤坂学園赤坂中学校等で11クール開催延参加者数573人教室の案内をラックチャ等施設でも行った。	—	令和4年度から新設した「水中健康トレーニング」が定員に対して約3倍の申込があり、「水中トレーニング講座」とクール数の調整をすることで、区民の満足度向上や施設資源の活用、スポーツセンターと区有施設の連携を推進を強化していく。	「水中トレーニング講座」等を実施していない施設にも教室内容を共有したり、スポーツセンターで実施していない陸上でのトレーニング教室を区民への案内として選択脚を広げることで、区民の満足度向上や施設資源の活用、スポーツセンターと区有施設の連携を推進を強化していく。
7-(1)-①	76	○	○	先端技術の活用に向けた民間企業等との連携	生涯学習スポーツ振興課	民間企業や大学等と連携し、区で実践可能な取組の検討と先進事例の情報を収集し、ICT等による先端技術を活用したスポーツの楽しみ方の創出に取り組む。	民間企業協創制度を活用し、連携企業を募集した。提案のあった企業と連携し、先端技術による新しいスポーツを体験するイベントを実施した。	民間企業協創制度の提案事業者と連携し、先端技術による新しいスポーツを体験するイベントを実施した。 また、大学と連携し、麻布地区のいきいきプラザにおいて、高齢者を対象としたeスポーツ体験会を試行的に実施した。	eスポーツに特化した民間施設において、大学生と交流しながら、eスポーツを体験する事業を実施した。 開催数：3回(試行実施含む)参加者数91人	—	民間施設でのeスポーツのイベントを新たに実施するなど、民間企業が有する先端技術を活用したスポーツの楽しみの創出に取り組めた。	eスポーツイベントなどにおいて、先進事例の情報を収集しながら、民間企業等と連携した先端技術の活用に取り組む。
7-(2)-①	77	—	—	SNS等を活用した情報の提供	生涯学習スポーツ振興課	SNS等を活用し、スポーツ教室等の開催情報や区立スポーツ施設の混雑情報等の提供に取り組む。	当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページにて公開。人気のあるプールとトレーニングパークについてはリアルタイムでの混雑状況を発信した。	当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページにて公開。人気のあるプールとトレーニングパークについてはリアルタイムでの混雑状況を発信した。	当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページにて公開。人気のあるプールとトレーニングパークについてはリアルタイムでの混雑状況を発信した。	—	混雑状況を1時間ごとに更新するとともに、待ち状況の目安もホームページで掲載した。	ホームページをはじめSNSを活用し、混雑情報等を発信する。また、ホームページで混雑情報を発信していることの周知を行う。
7-(2)-②	77	—	—	区ホームページの充実	生涯学習スポーツ振興課	区ホームページを活用し、広く区民にスポーツやレクリエーション、スポーツ団体の情報を提供できるように取り組む。	区が主催する事業の情報について、ホームページによる周知を積極的に行った。	区が主催する事業の開催情報や利用休止情報について、ホームページによる周知を積極的に行った。	区が主催する事業の開催情報や利用休止情報について、ホームページ、X(旧Twitter)やLINEを使用し、周知を積極的に行った。	—	適宜ホームページを更新することで、情報をわかりやすく提供することができた。	広く区民に情報を提供できるよう、今後もX(旧Twitter)等と連携し情報発信に取り組む。
7-(2)-③	77	—	—	施設の周知、利用案内等の情報提供	生涯学習スポーツ振興課	スポーツセンターや運動場などの利用方法をまとめた「スポーツガイドマップ」や利用可能な学校屋内プールを一覧にした「学校屋内プール利用案内」により、施設の周知及び利用方法をお知らせしている。今後は、内容を更に充実し、広く区民に施設利用を促すための情報提供に取り組む。	スポーツガイドマップにQRコードを掲載し、施設のページへすぐアクセスできるよう改定した。	新規開放した施設について、広報みなど、ホームページ、Twitter等により広く周知した。	新規開放施設など、施設に関する情報について、広報みなどホームページ、X(旧Twitter)等により広く周知した。	—	丁寧に周知したことで、混乱なく利用していただくことができた。	新規開放施設や時間変更などをスポーツガイドマップに反映させていく。